

京都スキー協議会

CITY SKI CLUB NEWS



No.320号

《スポーツは平和とともに／スキーの楽しさを共有しよう》 ニュース部作成 2024年1月15日

2024年 令和6年 新しい年があけました。

今年もシティスキークラブニュースをよろしくお願いします。



行事報告 <クラブ行事>

シティスキークラブ忘年会 令和5年12月16日(土)

「燕とアテ ふうふう」京都駅前店にて

お店は若い人で賑わっていました。私たちは個室でゆっくり楽しみました。

参加： 11名



☺会社の忘年会は無いのが普通になってしまった今日この頃、

5、6人以上での呑み会が本当に久しぶりになりました。来られなかった方々もいらっしゃいますが、皆さんの顔が拝見できてよかったです。

京都駅回りから帰るまでの記憶が無いのですが、それは年のせいですかね、、、

M.H.

☺何時も同じ笑顔が見られて良かったと思います。それと、それぞれ忙しい中でグレンデに出向く話しのエネルギーが少なく成ったように思いました。一泊、夜行バス朝帰り出勤とか…ね。

N.T.

行事報告 <京都スキー協>

京都スキー協指導員会議報告

記：H.K.

10月29日(日)午後、Zoomにて会議と指導員の理論研修を兼ねて行なわれました。

全体では10名、シティからはM.T.、H.K.の2名の参加でした。

◎関西ブロック会議報告 来年の関西ブロック学習交流会は京都が主管

◎技術指導員部会報告 研修状況の現況、技術指導員の行事開催計画について

◎理論研修

- ・スキー協の組織運営と指導員の役割 組織の活動と現状、指導員としてどう生きるか？
- ・スキーの技術と指導法 指導員検定の着眼点について解説
- ・スキー事故の予防と対応 22/23 スキー場傷害報告書の要約、指導員の心得
- ・指導員規程の確認 リーダーとしての自覚、2年毎の研修義務

◎2大行事について

- ウィークデーツアー 令和6年1月17日(水)～19日(金) 岩岳スキー場
- フェスティバルツアー 令和6年3月22日(金)～24日(日) 梅池高原スキー場

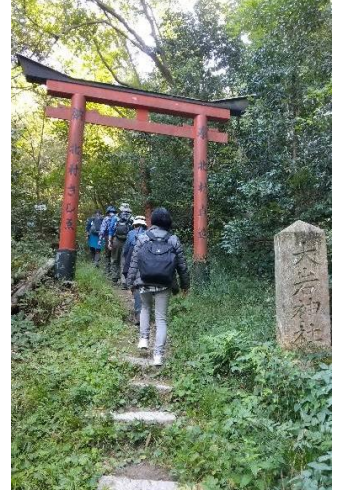
低山ハイクに参加して 令和5年10月22日(日)

京阪電車「龍谷大前深草」駅東側疎水前～大岩山～伏見桃山城～伏見桃山駅

🍀今回は、深草から桃山城まで、自分が生まれ育ったまさに地元の町を歩くという事で、楽しみに参加しました。ずっと深草に住んでいたにも関わらず、今回たどったルートは初めてで、人間の行動範囲なんて本当にしれているなあと改めて感じました。

大岩街道から大岩神社、そして伏見桃山城への道のりは、健脚の方には物足りなかったかもしれないけれど、久々の外歩きの私にはちょうどいい感じの行程でした。

子ども時代、家族や友だちとよく遊びにきたキャッスルランドも、今では立ち入り禁止のお城だけが残された公園になっていました。ノスタルジーにひたりつつ、久々にスキー協の方々とおしゃべりができて楽しかったです。 記：N.C

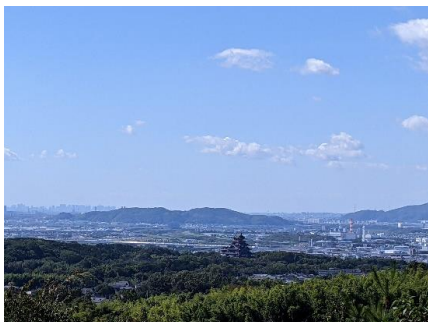


🍀スキー協企画部の低山ハイキングに参加してきました。10月下旬の本当に気持ちの良いハイキング日の中、自宅の近くの京阪龍谷大前深草駅から大岩山を越えて桃山城から京阪伏見桃山駅まで、昼食を含めても3時間余りの気軽なハイキングでした。

大岩山には5、6年前に一度展望所まで登ったので2回目です。頂上手前には今は寂れてしまっていますが大岩神社があり、道中には堂本印象がデザインした彫り物のある珍しい石の鳥居があります。展望所からは南側へ下り北堀公園を通り過ぎ桃山城公園内で昼食、おしゃべりを楽しみながらゴールの伏見桃山駅まで歩きました。最近あまりゆっくり外歩きをしていなかったため、久しぶりにハイキングの気持ち良さを思い出しました。

記： H.K.

大岩山展望所からの眺め



懐かしの桃山城



※

ホームページ担当のN.T.さんがオブザーバーとして運営委員会に参加することになりました。
※H.K.さんが「今後の京都スキー協を考える委員会」に参加することになりました。

行事報告 <関西ブロック>

※報告は特にありません



行事予定 <クラブ行事>

令和6年2月25日(日) 日帰りスキー

近場(余呉高原辺り)で予定

※詳細は参加希望者で相談したいと思います。H.M. まで連絡ください。

行事予定 <全国・関西B・京都スキー協>

詳細は、スキー協役員やクラブ担当者にお尋ねください!

*京都スキー協

○第9回ウィークデーツアー

令和6年1月17日(水) 早朝出発~19日(金) 岩岳スキー場

(宿: アルベルゴ宮田荘)

○初級指導員検定会(指導員部)

令和6年2月17日(土) 日帰り 氷ノ山国際スキー場

○2024年京都フェスティバル

令和6年3月22日(金) 夕方出発~24日(日) 梅池高原スキー場

(宿: サンライズタンネ)

*関西ブロック・全国



○関西ブロックポール練習会

令和6年2月3日(土)~4日(日) 氷ノ山国際スキー場

✕切 1/23 詳細配信済み

○関西ブロック競技会&東海ブロック合同競技大会

令和6年3月8日(金)~9日(土) 野麦峠スキー場 みんなのお宿 若草物語

✕切 2/20 詳細配信済み

○関西ブロック春のレベルアップ研修会(主管: 京都)

令和6年4月5日(金)~7日(日) 志賀高原一ノ瀬スキー場

✕切 3/24 詳細配信済み

こんなことしてます

★★★はまっていること、推し、トライしたいこと、しようと思っていること 等々★★★



定年退職でお休みをいただき、40年ぶりに九州一周ツーリングに行ってきました。

【ツーリングの目的】

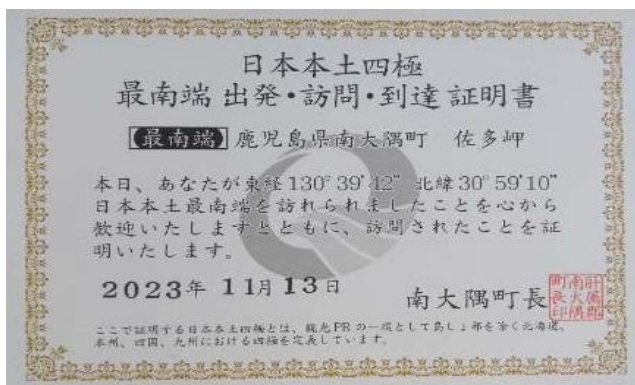
- ・ソロキャンプする
- ・熊本城を見たい(百名城のスタンプ集める)
- ・本土最南端(佐多岬)/最西端(神崎鼻)に行く
- ・40年前に写真を撮ったやまなみハイウェイ(長者原)で同じアングルで写真を撮る



《予定ルート》

〈1日目〉

前日の17:00に大阪南港を出港して、太平洋周りで、鹿児島島の志布志港に8:55に到着しました。強風の中、右に左に振られながら、何とか佐多岬に到着、遠くに種子島と屋久島が見えますが、霞んでかすかに見える程度。(右写真)



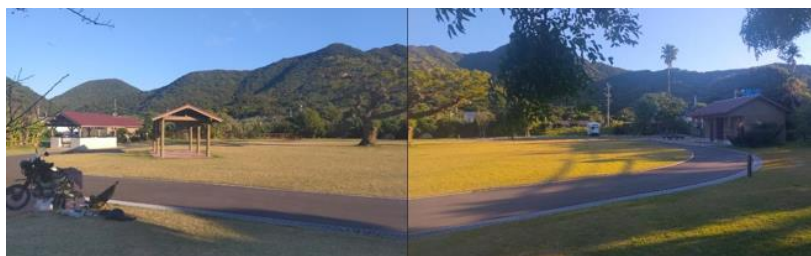
佐多岬の観光案内所に行くと、上の証明書がもらえます。

長崎の最西端(神崎鼻)、北海道の最北端(宗谷岬)、最東端(納沙布岬)揃うと、裏返せば『四極踏破証明書』になります。

佐多岬から10kmほど走ったところに、今日の宿泊の佐多岬野営場があります。

無料なのに、水洗トイレ、炊事場、かまどがあります。(とっても綺麗です)

カラスが多いのを除けば、最高のキャンプ場でした。



〈2日目〉

今日は、鹿児島市への移動です。
遠くに見えた桜島が、だんだん近づいています。
お昼ご飯を食べて、いざ桜島へ・・・
40年前は火山灰が道路端にあって怖かったけど、
今回はありません。快調に走れました。
桜島フェリーで鹿児島市へ。
ホテルにチェックイン後、鹿児島市を散策。
有名な西郷さんの像や、鹿児島(鶴丸)城跡を見ました。



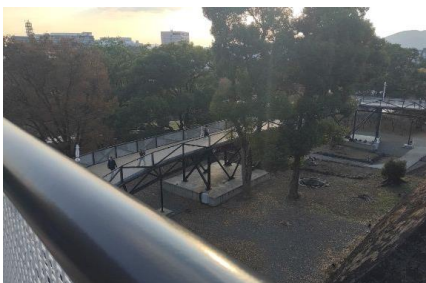
〈3日目〉

鹿児島から熊本への移動でほぼ時間を使いました。(170km)
125cc用のナビが無く、車用のナビではすぐに無料の自動車道(125cc以下は通行不可)に案内されます。ナビは、グーグルマップとヤフーナビを使い分けていました。
音声は、ヘルメットにインカム付けているので、快適です。(電話もでき、ラジオも聞けます)



〈4日目〉

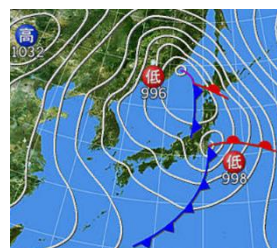
朝から熊本観光。念願の熊本城へ。
7年前の熊本地震からすでに修復された石垣もありますが、崩れたままになっている石垣もあり、まだまだ修復中です。
前に歩いている地元?の親子が、『まだ30年は掛かるらしいよ』と話していました。
熊本城に入るには、新たに作られたスロープを登ります。
壊れた城壁などに触れないで天守閣にアプローチする方法を考えて作るのは、大変だなあと感じました。



熊本を後にして、次の目的地の佐賀県吉野ヶ里遺跡へ。
入ってすぐに、イノシシの作り物でドン引き
邪馬台国関連を楽しみにしていたのに・・・
たくさんの復元した建築物がありました。
当時の建築レベル(木の鋸など)で、これだけの建築物は
すごいと思いました。広い、とにかく広い。
東京ドーム何個分のレベル。
一人で散策できるレベルじゃない。
家族連ればかり。 家族で来たかったです。



ホテルに着き、目的地(佐賀北部)の明日の天気を調べると、
午後ゼーンぶ雷雨になっている。
これは、やばい！！ 西高東低の冬型の気圧配置。
縦縞びっしり。明日の長崎は、無理っぽい。



〈5日目〉

福岡県糸島市の海沿いのキャンプは諦めて、朝から佐賀城見学。
天守閣はありません。本丸御殿のみ。
それほど興味が持てず、早めの退散となりました。
昼からは雨予報なので、早めに筑後市に移動しました。
夕方、キャンプ場から『すごい風と雷です！』と電話で連絡がありました。
テレビのお天気ニュースで福岡県に暴風警報。 行かなくて良かったです！



記：H.M

※ (その2) はNo.ニュース 321 号に続きます。どうぞ期待を...

* * * * * スキー思い出小噺 その12 * * * * *

記：H.S.

上級指導員資格を取得した事で、活動の場が広がることになりました。元々、私はお酒が飲めずその付き合いも苦手で、おまけに人見知り独り善がりな性格でもあり、その頃は自分を成長させるため「頼まれたことは引き受けよう」をモットーにしていたので、資格の役割もあってスキークラブにとどまらずスキー協(京都・関西ブロック・全国スキー協)との関わりも大きくなり、京都と関西では運営の中心メンバーになりました。

関西ブロックでは、1995年から事務局長そして1999年から議長になるのですが、それまで関西ブロックの議長として中心になっていた大阪スキー協のHさんが、長野県信濃町黒姫に移住することになり、引き継ぐことになったのです。自分的には表に立って旗を振るより、事務局として物事を考え動かす方が得だと思っていたのでこの時は躊躇したのですが、大阪スキー協のYさん(人として信頼していた方)が「支えるから頼む」と言われて引き受けました。この頃のスキー協は、スキーバブルに乗って勢いが有ったので、京都でも200人を超え関西ブロックでは1000名以上の会員数を抱えていて、各府県のエゴも有りそれなりに運営は大変でした。

そんな頃舞い込んだ体験です。近畿で関西ブロックが有るように、それよりも以西で西日本ブロックも有りました。福岡県北九州市の「となかいスキークラブ」が中心だったのですが、広島にもクラブが有り、山口にも個人加入で数人いたようです。関西ブロックが秋に行っている学習交流会の様な行事が行われていて、それまでは関西ブロック議長のHさんが講師で行っていたのですが移住で行けなくなり、全国スキー協から私に依頼が来て「京都から博多まで」一泊二日で行くことになりました。



《現在・サンビレッジ茜のHPより》

「となかい」の事務局の方とやり取りして、山陽新幹線の博多駅で落ち合うことになり、そこから車に乗って「あかねスキー場」（現・サンビレッジ茜スキー場・人工芝・標高 936M・福岡県飯塚市山口）まで一時間半ほどかかりましたが、車中では博多弁が心地良かったです。現地には宿泊施設もありました。講師として教程技術・スポーツ論の2つを担当し、自分なりに準備に時間をかけ望みました。知らない人ばかりで「旅の恥は掻き捨て」ともいうので、そんな気で臨みました。

翌日は閉鎖になった比叡山人工スキー場より少し規模の大きい人工芝で滑ったのですが、比叡山人工スキー場のブラシ面と違い、緑色の粗目のグレンデでした。斜度は比叡山の出だし位だったと思いますが、レンタルのブーツはリアエントリーでノーマルスキーはエッジが丸くなっていて、へっぴり腰で滑ってかっこ悪い滑りでした。

帰りは 新幹線の自由席で非常に混雑していて数時間通路に立ちっぱなしになり、立ち眩み脂汗が出るほど苦しく疲れました、神戸から空席が出来座れた時は心底ホッとしました。昨年にあった韓国梨泰院（イテウォン）の雑踏事故でこの事が蘇り。今回の記事になりました。それ以降冬の行事では、二度大山スキー場に行くことになり、一人行では寂しくOさん・Tさん（共に旧姓）に同行してもらいました。



編集後記

穏やかな年の初め…と思ったのに、地震に火災に飛行機事故にと大変な年明けになりました。国内を見ても、海外に目を向けても、そして地球環境も問題が山積み…

いやいやネガティブになってはいけませんね。

今年の干支の辰のように“上り竜”めざして前を向いていかなくは…

個人的には“アレンパ”を楽しみに。また太極拳の昇級目指して練習を頑張りたいです。



⇐ 福寿草（花言葉 幸せを招く）

記：S.K.